

令和8年9月4日

第6学年保護者様

横浜市立仏向小学校
校長 佐藤 裕二

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果報告

日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力をありがとうございます。

本年度4月に実施された全国学力・学習状況調査では、国語・算数・生活習慣や学習意識に関する質問調査が行われました。

つきましては、調査結果が出ましたので、ここに報告させていただきます。

【教科調査 国語】

国語の結果は、全国平均よりやや上回っています。特に、次のような書くこと「思考・判断・表現」を問われる問題に成果が見られました。

- ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる問題
- ・引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題

〔今後に向けて〕

国語科の学習に関わらず、自分の考えや意見をまとめるときに、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を見直す活動を取り入れ、適切に表現する力を育成できるよう授業を工夫していきます。また、家庭学習の自主学習を継続し、書くことへの意識を高めていきます。

【教科調査 算数】

算数の結果は、全般的に全国平均とほぼ同等です。しかし、次のようなデータの活用に関する問題に課題が見られます。

- ・示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題
- ・示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる問題

〔今後に向けて〕

複数の情報を関連付けることや、問題文の条件を整理することに課題が見られます。情報を整理する力や条件を読み取る力、論理的に考える力を高めるために、日常生活のアンケートや学級調査など、身近な題材で二次元表に慣れさせる工夫をしていきます。

その他の項目は、基礎・基本的な計算や読解等、全国平均と同等でした。これまでの自分の課題を把握し、授業や朝モジュールの時間を使って定着を図るとともに、その知識を使って新しい学習を積み重ねられるようにしていきます。

【生活習慣・学習意識に関する調査】

全体を通して全国平均と比べ、意識として高い結果が出たのは、次のような項目でした。

- ・朝食の習慣
- ・睡眠時間、決まった時刻での就寝・起床
- ・自己肯定感
- ・家族に悩みを打ち明ける
- ・先生との関係
- ・将来の夢や目標をもっている
- ・友達や周りの意見や考えを大切にする
- ・P C・タブレットを利用して学習に生かす力

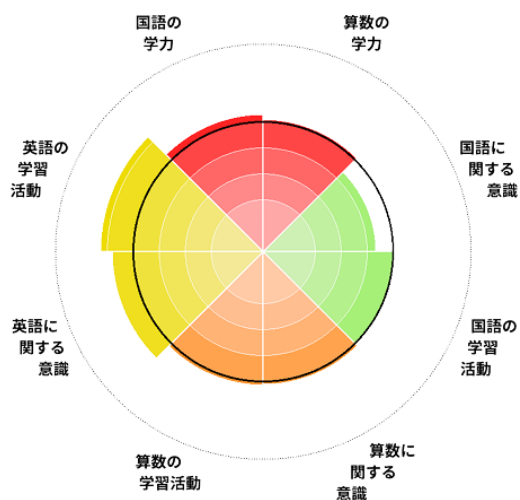
全体を通して全国平均と比べ、意識として低い結果が出たのは、次のような項目でした。

- ・タブレット端末の使用時間の長さ
- ・友人関係

全体として、学校生活や学習に対する意欲が高い児童が多く見られます。特に朝食をとることや早寝早起きは全校平均と比べるとかなり高いです。家族や先生との関係もやや高く良好な傾向です。しかし、友人関係に不安を感じている児童が12%で、全国の平均の8.1%と比べると割合が多かったです。思春期だからこそ些細な変化に気付き、相談しやすい関係づくりに努めると共に、安心して過ごすことができる環境づくりを目指していきます。

〔教科を中心とした学力・学習状況〕

(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕

(全国基準)

